



「って、顔が
紅いけど
大丈夫か…？」

「だだ大丈夫、
大丈夫だから
気にしないでっつ



「…そうか…
まあお大事にな

「ううん…
ありが

「なん



「ハヤテ君…
今出したばかり
なのにもう
元気になってる…」

「ヒナギクさんこそ…
物足りなさそうに
ここひくついで
ますよ……」

逆龍執事



「ちよっとハヤテ君、
そんなとこ
攻めちゃだめえ

「なに

なんでそんなに
声：我慢してるん
ですか？

だって…間かれたら
恥ずかしいー

…確かにヒナギクさんの
声って大きいですよね…

でも
必死に我慢してる
ヒナギクさん…
可愛い♡

え？





すごい臭い…
これがさつきまで
私の腔内にはいつこ
いたのよね…

なのにまだごんごんに
硬いなんて…♡



ハヤテ君…
今出したばかり
なのにもう
元気になってる…

ヒナギクさんこそ…
物足りなさそうに
こんなくっしん
ますよね……





本当に欲張りさん
ですね

ハヤテ君！

おめおめおめ
おめおめおめ

おめおめ

おめおめ

おめおめおめ
おめおめおめ

おめ

ハヤテ君が
私のなかに
ごっほごっほ……

おめおめ
おめおめ

おめ

おめ

